

# EPegas<sup>®</sup>

## 取扱説明書

屋外使用専用

## QUO (S-1032)

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。  
「取扱説明書」は大切に保管してください。

### 使用上の注意

#### 危険

- この器具は屋外専用です。屋内、テント内、車内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒や酸欠による窒息死の原因になります。また、屋外でも換気の悪いところでは使用しないでください。
- 調理以外の用途に使用しないでください。
- 夏の炎天下、河原や砂浜、舗装道路等の場所で、容器が過熱するような使用・保管をしないで下さい。爆発の原因になります。
- 燃焼中に移動したり、傾けたりしますと液状のガスが出て大変危険ですのでおやめください。
- 器具および容器を天ぷらガード等の風防で完全に囲っての使用は危険です。絶対にしないでください。
- ランタンを吊して使用している場合、その下方で器具の使用はおやめください。爆発の恐れがあります。
- 容器の着脱の際は、器具栓を持って着脱してください。ゴトクやゴトク受け、バーナーヘッド、自動点火装置を持って着脱しますと、故障や不具合の原因になります。
- 純正品・付属品以外のものは使わないで下さい。

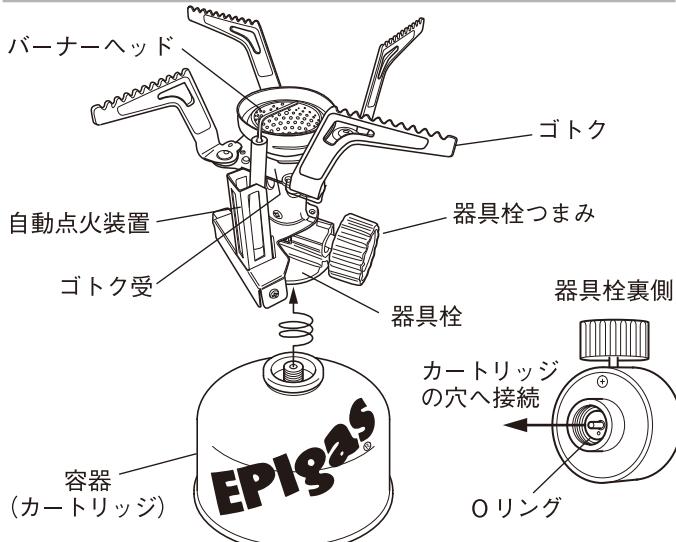
#### 警告

- 炭や焚火の火おこしなど、炭や木片等をのせての使用はしないでください。
- 2台以上並べて使用しないでください。また、他の熱器具、焚火等から十分離してください。爆発の恐れがあります。
- ゴトクは常に水平にし、本体の安定を必ず確保してください。

#### 注意

- 燃焼中は強風や風向きに気をつけてください。炎があおられ下へ回ると自動点火装置や器具栓つまみ等が破損します。
- 自動点火装置が破損する場合があるので、器具を落としたり、衝撃を与えないでください。
- 器具の分解・改造はしないでください。
- バーナーヘッド、ゴトクが焼けている場合がございますが、燃焼点検時についたもので、不良ではございません。

### 全体図・各部の名称



### 操作のしかた

注意！ QUOは直噴型ストーブですので、炎が真上に高く上がります。着火の際はバーナーヘッド上部に顔や燃えやすいものなどを近づけないで下さい。火傷や火災の危険があります。

#### 1 ゴトク

- 4本のゴトクをそれぞれ1cm程度開きます。(図1)次にゴトクの根元を持ちながら、ゴトク受けの凸にゴトク穴がはまり込むまで矢印方向に回転させてください。(図2)たたむ時は逆の手順で行ってください。

\* 1本のゴトクのみを完全に開いてしまうと、他の3本のゴトクが開けなくなり、故障・不具合の原因になりますので、必ず上記の手順で行ってください。

#### 2 カートリッジの取り付け

- 容器(カートリッジ)の取り付けかたを参照してください。

#### 3 点火

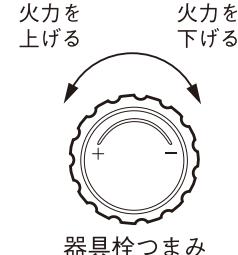
- 器具栓つまみを(+)側に静かに回し、ガスを少し出します。自動点火装置の赤色のプッシュボタンを押して点火します。一度で点火しない場合は何回かプッシュボタンを押してください。その際、確実に点火したことを確認してください。

\* 点火の際、ガスの出しすぎ、急激なガスの噴出に注意してください。

※ 点火の際、ガスが出ないときや燃焼の途中でガスが止まってしまった場合は、器具栓つまみを(-)側にもどし、器具栓と容器を増し締めし、再度点火してください。

### 4 火力調節

- 器具栓つまみの操作で火力の調節ができます。
- 火力を上げるときは(+)側に、下げるときは(-)側にそれぞれ器具栓つまみを回してください。



### 5 消火

- 器具栓つまみを(-)側に回し、完全に火が消えるまで閉じてください。その際、確実に消火したことを確認してください。

#### 注意

- 自動点火装置やガスの特性により、高所や低温地では自動点火装置で点火しにくいことがあります。実際の山行やキャンプでは念のため、必ず予備のマッチやライター(電子式でないもの)を携帯してください。

#### 警告

- 鍋等は、総重量1.5kg以上のものは、載せないでください。故障・不具合の原因になります。
- 底面が円型の器具および容器に覆い被さるような形状の円盤型トースター、焼きあみ・魚焼き器(セラミック製など)、薰製器(スマーカー)、鉄板等の調理器具を使用しないでください。輻射熱で爆発の恐れがあります。
- 上記のような異常な熱が下へ回る状態、状況での使用はおやめください。異常な熱が下へ回りますと、自動点火装置・器具栓つまみ・容器のバルブが破損しますので注意してください。自動点火装置や器具栓つまみ等が破損した場合は、有償修理にてお取り替えできますが容器のバルブの破損はガス漏れ事故につながりますのでご注意ください。
- 使用中、使用直後はやけど防止のためバーナーヘッド部やゴトク部分には触れないようご注意ください。
- 燃えやすい物や熱に弱い物から、十分離して使用してください。
- 突風やふきこぼれ等で火が消えることがありますので、使用中は時々正常に燃焼していることを確認してください。
- 万一ガス漏れや異常燃焼をおこした場合は、器具栓つまみを開じて完全に消火したことを確認した後、容器を外してください。その器具をそのまま使用するのは非常に危険ですのでおやめください。必ずお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

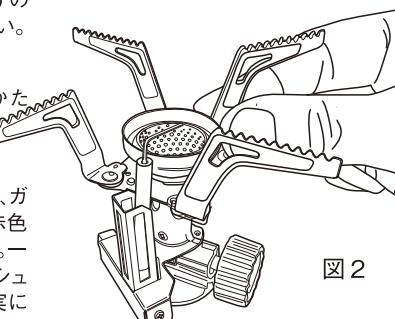
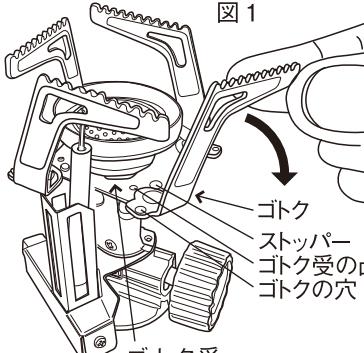


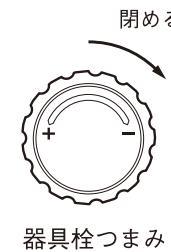
図2

## 容器(カートリッジ)の取り付けかた

### 危険

- 火気のあるところ、換気の悪い場所での容器の着脱は、引火事故につながる恐れがあり大変危険です。絶対に行わないでください。
- 容器は水平にして着脱を行ってください。容器着脱の際、構造上若干ガスが漏れることがあります。特に容器を傾けて着脱しますと液状のガスが出て危険です。

1 器具栓つまみを(-)側に回し、器具栓を完全に閉めてください。



2 器具栓にカートリッジを接続してください。カートリッジを水平にして、器具栓をしっかり持って垂直に素早くねじ込んでください。

(全体図・各部の名称参照)

\*カートリッジは自然に止まる位置よりややきつめに締めてください。

## 容器(カートリッジ)の使用上の注意

収納する際は器具と容器は必ず取り外してください。  
また器具等に付いた異物や水滴等の汚れも取り除いてください。

### 危険

- 使用中、使用済みの容器を火中には絶対入れないでください。
- 容器にガスを再充填することは危険ですのでやめください。  
再充填したカートリッジで、事故が発生しても弊社では責任を負えません。
- 空になった容器でも取扱方法を誤ると爆発の危険性があります。
- 使用済み容器は必ずお持ち帰りください。
- 使用済み容器に残ガスがある場合にはガス抜きをし、残ガスがないことを確認し、地方自治体の廃棄方法に従って処分してください。
- ガス抜きにはEPIカーバンチレーターをご使用ください。
- ガスを故意に吸引すると、酸欠による窒息死の原因となります。

### 注意

- EPIgas器具には必ずEPIgas純正容器を使用してください。万一他社製品と組み合わせて使用して事故が起きた場合でも当社では一切責任を負いません。
- 器具栓と容器が傾いたまま取り付けますと、ネジ山が摩耗し、器具栓および容器の破損、また、ガスもれの原因になりますので、ご注意下さい。

## 容器(カートリッジ)の取り外しかた

- 火が確実に消火されていることを確認してください。
- 容器を水平に保ち、器具栓を持って取り付け時と逆方向に容器を回し、器具を垂直に素早く取り外してください。

## 収納・保管のしかた

### 注意

- 器具と容器は取り外して専用ケースに収納し保管してください。  
収納、保管する際は機器が完全に冷えていることを確認してください。  
収納する際、容器はキャップをし、40°C以下となる湿気の少ない場所に保管してください。保管されている容器は時々点検し、錆が発生している場合にはできるだけ早く使用してください。
- 容器は40°C以上になる屋内、車内(トランクルーム・ダッシュボード含む)に保管、放置しないでください。爆発の原因になります。

## 点検・掃除のしかた

### 危険

- ご使用前にOリングが良好な状態で、正しい位置にあることを確認してください。摩耗、損傷、変形等しているとガス漏れの恐れがあり大変危険ですので、お買い求めの販売店に部品の交換修理を依頼してください。特にOリングはガス漏れを防ぐ大切な部品ですので定期的に交換することをお薦めします。

### 警告

- 故障または調子の悪いものをそのまま使用するのは危険です。異常や不審な点が認められたときは、お買い求めの販売店または当社までご連絡ください。

- 日常の点検・掃除は必ず行ってください。
- 煮こぼれやゴミ等により、器具栓内のノズルがつまりガスが出なくなることがあります。  
その際は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- バーナーヘッド等が汚れたたら、そのまま放置せず、布などで拭き取ってください。放置したままですると、異常燃焼や錆など故障の原因になります。

## QUOの特長

- ゴトクは鍋の安定に欠かせない4本ゴトク設計です。
- 燃焼効率の良い直噴型バーナーヘッドです。
- 視認性・操作性のよいオレンジツマミです。

## EPIgasの容器(カートリッジ)の特長

- EPIgasの容器はすべて高性能の自動閉鎖バルブを使用していますので、ガスが残っている間は何回でも着脱使用が可能です。またEPIgasの容器は他のすべてのEPIgas器具と共に使用できます。収納する際も本体とは別にでき、ガス漏れの心配は全くありません。
- EPIgasの容器は肉の厚い金属板を使用していますので安全性は非常に高いものです。

## 仕様

品名	カセットこんろ(直結型)
品番	S-1032
型式	QUO型
寸法	79mm H × 105mm φ
重量	98g
ガス消費量	190g/h
出力	2,300 Kcal/h

※EPIgas製品は生産物賠償責任保険に加入しています。

ただし、EPIgas以外の製品に使用された場合は責任を負いませんのでご注意ください。

※この取扱説明書は再生紙を使用しています。

UNIVERSAL TRADING Co.,Ltd  
ユニバーサルトレーディング株式会社



URL <http://www.epigas.com/>  
〒332-0004 埼玉県川口市領家2-16-26  
TEL 048-225-7756 FAX 048-225-8256  
E-Mail [info@epigas.com/](mailto:info@epigas.com)